

クォーターレポート（6月・9月・12月・3月の年4回発行）

気仙沼・南三陸だより

第24号 平成30年3月

発行：気仙沼地方振興事務所



気仙沼管内の宮城県公所が取り組んだ事業や催事などを四半期ごとに紹介します。

◆◆ 主な内容 ◆◆

- 気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部：農地海岸災害復旧工事 ほか
- 気仙沼地方振興事務所 林業振興部：探鳥会を実施しました（愛鳥モデル推進校事業） ほか
- 気仙沼地方振興事務所 水産漁港部：宮城県漁業士会北部支部第2回研修会が開催されました ほか
- 気仙沼地方振興事務所 地方振興部：水産加工販路相談会を行いました

農地海岸災害復旧工事（高所法面掘削機による工事施工） （気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部）

登米沢地区農地海岸災害復旧工事では、通常の掘削機械で届かない切土施工について「高所法面掘削機」を使用しました。登米沢地区では、急傾斜な上に東日本大震災により法面が崩壊して危険な状況であったことから、無人の高所法面掘削機を崖上の重機 2 台（アンカー）からワイヤーロープで吊して、オペレーターが遠隔操作で掘削を進めました。

今回の工法は、農業土木分野では珍しい事例となりますが、堤防嵩上げ工事を短期間かつ経済的なうえに、十分な安全性を確保しながら進めることが出来ました。今後も工法採用については、安全性や施工性、経済性を重視する方針であり、さまざまな技術導入にも積極的かつ柔軟に検討してまいります。



登米沢地区（高所法面掘削機による切土施工）

中山間地域の草刈りの問題を地域の方々を考えました (気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部)

気仙沼市赤岩地区で中山間地域等農村活性化事業の一環として NPO を活用した住民活動支援事業を進めています。昨年 9 月に開催した 2 回のワークショップを皮切りに、赤岩地区が「中山間地域」として抱える問題・課題への解決・対策の実現に向けて、「草刈りデモンストレーション」や(先進地視察による)「意見交換会」などを開催しました。

赤岩地区の地域住民の方々からは、特に「草刈りへの負担」に関する不安や要望が数多く寄せられており、これを受けて「草刈りデモンストレーション」(11 月)では、斜面用草刈機械の性能と森林組合委託による草刈りを比較・検証しました。JA 山形中央会との意見交換会(12 月)では、全国的にも注目されている取り組み「草刈り隊」活動及び支援事業について活発な情報交換を行いました。

次回は、これまでの成果について取りまとめた上で「成果発表会」を開催する予定ですが、中山間地域直接支払制度における次期対策(平成 32 年度以降)の策定に向けてその一助となりますよう今後もこのような住民活動支援事業を進めてまいります。



ワークショップの様子



草刈りデモンストレーション



JA 山形中央会との意見交換会

探鳥会を実施しました(愛鳥モデル推進校事業) (気仙沼地方振興事務所 林業振興部)

当事業は、野生生物保護思想の普及の一環として、児童生徒を対象とした各種保護活動による野生生物保護意識の啓発を図ることを目的に、管内では「南三陸町立名足小学校」が選定されており、平成 28 年度、29 年度の 2 カ年で愛鳥教室や巣箱作りなどを実施しています。

今回は、1 月 12 日に 3 年生を対象に、学校周辺の漁港で探鳥会を実施し、南三陸ネイチャーセンター友の会の鈴木卓也会長からの説明を聞きながら、手にした双眼鏡で熱心に野鳥を観察しました。

探鳥会終了後、確認できたコクガンやヒドリガモ、イソヒヨドリなど 11 種類の中から、好きな鳥や気になる鳥を発表し、これからも自然や野生動物を大切にしてほしいとの鈴木会長の言葉に、「はい！」と元気よく答えていました。



双眼鏡を使つての探鳥



発見した鳥の発表会の様子

平成 29 年度県産材利用促進功労者表彰について (気仙沼地方振興事務所 林業振興部)

12月25日に、県産木材利用の推進や先進的な取組への顕著な功績により、南三陸町長へ知事から感謝状が贈呈されました。これは、南三陸町が平成27年10月に町内の3所有者とともに、FSC(森林管理協議会による国際森林認証制度)に基づく県内初となる森林管理認証(FSC-FM認証)を取得したことや、認証木材を活用した役場庁舎及び支所建設の取組により、平成29年8月全国で初めて公共建築物のFSC全体プロジェクト認証を取得したことによるものです。

現在、南三陸森林管理協議会は5者のグループ認証であり、今後さらに多くの町内森林所有者へも森林認証への参画を促し、町全体の適正な森林管理のPRと南三陸町産材の販路を開拓・確保しながら、木材消費者から環境配慮商品として選ばれ、優先購入されることを目指しています。また、同町では戸倉漁協で海面養殖の国際認証ASCも取得しており、今後更に別な角度からも海山川を連関させた環境配慮の町づくりで震災復興を推進しようと取り組んでいます。



感謝状贈呈の様子



南三陸町役場(本庁舎)

宮城県漁業士会北部支部 第2回研修会が開催されました (気仙沼地方振興事務所 水産漁港部)

2月1日、気仙沼合同庁舎で「宮城県漁業士会北部支部平成29年度第2回研修会」が開催されました。

今回の研修会では、飲食店側から見た地元水産物に対するニーズ等を把握し、水産物のさらなる活用や販路拡大に繋げることを目的として、漁業士と地元飲食店の意見交換を行いました。

「地元水産物の活用について」と題して、気仙沼寿司組合の加藤副組合長による講演が行われ、参加者間で互いに意見を出し合いました。また、県水産産業振興課及び当部からの講演では、水産物の販路拡大や魚食普及のためのヒントを探りました。

参加漁業士からはこの研修会をきっかけに、今後、地元飲食店等との連携を活発化し、地元水産物の情報発信などしていければとの意見もあり、有意義な研修会となりました。



研修会の様子

ワカメの初入札が行なわれました (気仙沼地方振興事務所 水産漁港部)

今季の気仙沼本吉地方の養殖ワカメ初入札が2月1日、気仙沼市波路上の県漁協わかめ流通センターで行われました。

今年はワカメの生育が良く、入札は昨年より1週間ほど早く行われました。

入札による10キロ当たりの平均単価は、近年続いている品薄感によって、昨年より200円ほど高い9,766円で、最高値は1万1,900円という結果となりました。今年の入札は昨年より1回多く、4月末まで11回開かれる予定となっています。



入札の様子



塩蔵ワカメ

水産加工販路相談会を行いました (気仙沼地方振興事務所 地方振興部)

1月31日に管内の水産加工業者を対象とした「水産加工販路相談会」を開催しました。この相談会は、震災からの復旧・復興を進める上で課題の一つとなっている販路の回復・開拓を目指し、大手企業等との人脈を持つ「特定非営利活動法人 経営支援 NPO クラブ(NPO クラブ)」の相談員を招き、首都圏の百貨店や量販店、飲食店等への販売に係るアドバイスや引き合わせ(マッチング)を目的とし開催したものです。

当日は、管内の水産加工業者6社が相談会に参加し、各企業担当者の説明をもとに、商品特性や今後の販売戦略の方向性などについて、相談員より具体的なアドバイスを頂きました。

今後は NPO クラブがコネクションを持つ首都圏企業への引き合わせが可能と思われた3社を対象に、相談員帯同による商談の場をセッティングの上、支援を行う予定です。



相談会の様子



工場見学の様子